

拠出金名: 国際連合大学拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				703,534千円	
国際機関等名	国連大学(注1) (英文名称・略称) United Nations University(UNU)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	g				
最近3年間の我が国支払額及びODA率(注2)					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	円建て分 (千円)	レート	ODA率 (%)
平成19年度	341,534	2,386	64,712	1米ドル = 116円	100
平成18年度	358,625	2,722	56,511	1米ドル = 111円	100
平成17年度	429,361	3,000	108,361	1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	国連大学本部の事業活動・本部施設の維持・管理に対する支援および国連大学高等研究所の学術活動費に対する支援				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)			国際機関等の財政 (2005-2006年度決算)		
	国名	金額 (千米ドル)	拠出率(注3) (%)	当該年度の収入 372,921千米ドル 当該年度の支出 81,325千米ドル 次年度への繰越 299,542千米ドル	
1位	日本	6,605	28.3	会計検査機関名 国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors) (現在の構成員の出身国:仏、中、南ア)	
2位	マレーシア	4,850	20.8		
3位	ドイツ	4,169	17.9		
4位	オランダ	3,306	14.2		
5位	スウェーデン	986	4.2		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>国連大学は本部が我が国に所在する国連機関。国連大学が我が国大学・研究機関、地方自治体、企業との積極的連携による事業を展開していることに加え、昨年9月に就任した新学長が日本とのつながりをこれまで以上に重視し、有力大学等との共同研究や教育プログラムの実施や大学院教育プログラム構想等をすすめていることを評価。また、国連大学による途上国研究者の活用・育成への貢献を我が国の国際貢献の一環と認識。国連システムに於けるシンクタンク機能に期待。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>国連機関としての外部監査、内部監査を実施しており、右結果を反映した改革を推進。平成19年には官房機能の一部をマレーシアに移転し、経費の削減を追求。平成19年9月に就任した新学長のもと、国連大学改革のための戦略計画を定め、副学長の役割を見直した新体制による本部機能の強化、国連諸機関との連携強化に努めるとともに、限られた予算の効率的運用、事業活動の国内外への広報に努めている。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上(注4)	5人 うち 1人	当該機関全体の職員数(注5) 及び邦人職員が占める率	127人 3.9%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
副学長		武内 和彦		東京大学教授との兼任 (平成20年7月着任)	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
空席ポストへの邦人採用、幹部を含む邦人職員のランクアップを支援する。					

(注1)この国際機関には外務省の他に、文部科学省、環境省が拠出。
(注2)邦貨は拠出総額で外貨分はその内数。
(注3)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年
(注4)邦人職員数については平成20年7月現在の数値。
(注5)機関全体の職員数は平成19年12月現在専門職の職員定数。